

2021年度 全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会 新型コロナウイルス感染症に対するガイドライン

一般社団法人

日本高等学校・中学校ゴルフ連盟

行動規範

新型コロナウイルス感染を避けるため、大会期間中は連盟が決めた下記の事項を順守し、連盟の指示に従ってください。

- ① 大会前は、感染が発生している地域への移動は控えること。
- ② 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ 大会2週間前から検温し、問診票に記入のうえ連盟に提出すること。
- ④ 大会開催中は、毎朝、体温を測定し自己申告書を提出すること。
- ⑤ マスクを持参すること（クラブハウス内、ホテル共用スペースはマスク着用を厳守）。
- ⑥ こまめな手洗いをを行うこと（30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う）。
- ⑦ 設置している消毒用アルコール剤で手指消毒を実施すること。
（アレルギーその他、個々の手の状態により③のみでも可）
- ⑧ 口・鼻・目に不用意に触れないこと。
- ⑨ 可能な限りソーシャルディスタンス（約2m）を保つこと。
- ⑩ 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑪ 旗竿に触れることを極力避けること。
- ⑫ 出場選手は、体調不良を少しでも感じたらコース上すべての人のために競技を棄権し委員会に申し出ること。
- ⑬ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、連盟に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑭ 万一、大会期間中に陽性者が会場にいたことが判明した場合、二次感染の予防のため連盟から状況をお知らせするので、問診票に緊急連絡先（携帯電話・メールアドレス）の記入をしてください。

※取得した個人情報は、緊急連絡時以外は使用しません。

大会期間中の感染予防策

- 委員会の取り組み ▶選手の行動
- ◆車寄せ（玄関）
 - ▶キャディバッグの荷下ろしはプレーヤー自身で行うこと。
 - ▶玄関からスタート室前までは、プレーヤー自身で運ぶこと。
- ◆クラブハウス
 - クラブハウス内のアルコール消毒を定期的かつ随時行います。
（ロッカー取手・ロッカーキー回収・自動精算機・フロントカウンター周り）
 - クラブハウス内の換気を実施します。
 - 消毒用アルコールを各所に配備します。
 - サーモグラフィーカメラまたは非接触型の検温器による検温を毎日実施します。
（37.5℃以上の場合は、出場の可否を連盟で協議します）
- ◆フロント
 - ▶チェックインは記帳せず、スタート時刻と氏名を告げること。
 - ソーシャルディスタンス確保のため、選手の立ち位置を表示します。
- ◆ロッカーの振分け
 - 同時に使用する人数や各選手のスタート時刻を考慮して割付けします。
- ◆浴室
 - アルコール消毒を定期的かつ随時行います（シャワー取手、桶、椅子、ドライヤー）。
- ◆レストラン
 - アルコール消毒を定期的かつ随時行います（テーブル・椅子・メニューカバー）。
 - テーブルは2m以上の間隔で配置します。
 - ▶朝食をビュッフェ形式で提供する場合は、料理を取る際にマスク着用と備え付けの簡易手袋を使用すること。
- ◆乗用カート
 - ゴルフカートのアルコール消毒を定期的かつ随時行います。
（ハンドル・シート・手摺り）
- ◆スタート時刻
 - 大会のティータイムは10分間隔とします。
 - ▶スタート地点には、スタートする組だけが5分前に集合すること。
- ◆スターター
 - テントを使用し、4方向を開放します。
 - ソーシャルディスタンス確保のため、選手の立ち位置を表示します。
 - ▶カードを含めた配付物はテーブルに置くので、選手自身で取ること。
- ◆アテスト
 - ▶アテストエリアに入る際、消毒用アルコールで手指消毒を実施すること。

▶アテスト中はマスクを着用すること。

◦ソーシャルディスタンスの確保のため、選手の立ち位置を表示します。

◆競技委員・マーシャル

◦コース内を巡回する際、他の競技委員との乗用カートの共用を避けます。

◦選手との会話の際のソーシャルディスタンスの確保を心掛けます。

◆成績表示

◦密の状況避けるため、携帯サイトから閲覧できるようにします。

◆表彰式

◦換気状況や広さと、出席する人数（密度）を勘案して実施します。

大会開催における基本方針

◆開催可否の判断

- ① 政府及び自治体の見解
- ② 大会開催地自治体の状況
- ③ 選手の状況及び動向
- ④ 他のスポーツの動向
- ⑤ JGA及びプロトーナメントの状況

◆大会実施の制限

- ① 通常開催 【競技・放送・取材・引率・ギャラリー】
- ② 一般非公開開催 【競技・放送・取材・引率】
- ③ 非公開開催 【競技・放送】
- ④ 大会中止

◆スタッフの対応

- 出社時に体温測定し、37.5℃以上の場合は自宅待機とします。
- 検温を完了した証明としてネックストラップを着用します。
- マスクを着用します。
- レストランスタッフはゴム手袋を着用します。
- 頻繁な手洗いうがい、アルコールによる手指消毒を行います。
- 万一に備え、近隣の救急対応病院と所轄保健所と連携体制を取ります。

◆緊急時（荒天時）の対応

- 密の状況を作らないように早めに中断を決定します（避難時間の確保）。
- 避難ツール（車両・乗用カート）の十分な量を確保します。
- 避難場所のスペース（単純な広さとして）を確保します。

（クラブハウスの他にカート庫等の利用）

◆取材規制

- サーモグラフィーカメラまたは非接触型の検温器による検温を実施します。
(37.5°C以上の場合は、取材をお断りします)
- 事前登録をしていない方は身分証明書の提示を求めます。
- 検温・自己申告書の提出を完了した証明として、ネクストラップの着用を義務づけます。
- インタビュー時は、選手との間に規制線を設置します。

◆選手の出場校が新型コロナウイルス感染により休校となった場合

- 大会二週間前に休校となった場合
検温と経過観察を行い、選手の体調変化がない場合は出場を認める。
- 大会二週間前を過ぎて休校となった場合
該当選手のPCR検査陰性の証明を開会式までに連盟に提出した場合に限り出場を認める。
(PCR検査費用は自己負担とします)

◆選手・関係者から疑い例が出た場合

- 一時的に該当者を隔離する。
- 自覚症状を確認し、所轄保健所に相談する。
- 該当者から濃厚接触者の有無等について聞き取りを行う。
- 集団発生に対するリスク管理を行う。

◆選手・関係者からPCR検査の陽性反応が出た場合

- 会場に感染者がいたことを公表する。
- 該当者から、当日の交通手段、会場内での行動ルートの聞き取りを行う。
- 緊急対応病院または所轄保健所の指示を仰ぐ。
- 大会を中止にするべきかどうかを検討する。